

該当学年	授業科目名	担当教員	
1部2年	保育相談支援	緒方 玲子	
サタイトル	教育相談と子育て支援カウンセリング	単位数	1
授業形態	演習		
開講時期	後期	出席要件	4／5 以上

到達目標

本科目の目的は保育相談支援の基本と実際を学び、理論に基づいた保護者支援のあり方について探求する力を養うことである。

1. 教育相談（カウンセリング）の意義と理論を理解する。
2. 教育相談（カウンセリング）を進める際に必要な基礎知識を理解する。
3. 教育相談の計画・具体的な進め方や、組織的な取り組み・連携の必要性を理解する。

ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連

本科目は、特に「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている」ことを目指す科目である。カリキュラムマップにおいて「心の理解」に位置づけられており、15回の授業により、子育て支援について理解し、保育、教育現場における実践力を身に付けることが求められている。

授業の方法

- ・講義においては聴講・ノートテーキングを通して授業内容を把握する。
- ・アクティブラーニング（グループ・ディスカッション、ロールプレイなど）を通して理解を深める。
- ・確認問題、レポートにより、授業内容を振り返り、確認する。
- ・視聴覚教材を通して多面的に内容を理解する。

テキスト・教材・参考図書

テキスト 石川洋子著「子育て支援カウンセリング」 図書文化

参考図書 「保育士・教師のためのティーチャーズ・トレーニング」上林靖子監修 河内美恵他編著
 中央法規「幼保連携型認定こども園教育・保育要領 保育所保育指針」チャイルド本社
 「保育相談支援」(DVD) 橋本創一 細川かおり
 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018年
 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018年
 「幼保連携認定こども園 教育・保育要領解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省
 フレーベル館 2018年

評価の要点

総合評価割合

定期試験、確認問題、レポート、授業態度、グループ・ディスカッション、発表、および振り返りの内容を総合的に評価する。	定期試験 70%
	確認問題・レポート 20%
	授業への貢献度 10%

履修上の注意事項や学習上の助言など

- ・コクヨノート(コクヨ、キャンパスノート B5プリントが切らずに貼れるサイズ)を使用する。
- ・授業を欠席した場合は、板書の写しを行うこと（コピーも可）。
- ・欠席者への配布物は、速やかに確認し、課題などは提出すること。
- ・公認心理師・臨床心理士としての実務経験を活かし、教育相談と子育て支援カウンセリングについて、わかりやすく解説します。

科目名 保育相談支援

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	ガイダンス 保育相談支援の目的と意義について	保育相談支援の意義理解
2回	子育てが難しい時代・保育者の役割 子育てが難しい時代と保育者の役割について理解する	子育ての難しい時代背景 保育者役割理解
3回	相談支援の基本理解（1） 外側からの支援と内側への支援について学ぶ	保育相談支援の基本理解
4回	相談支援の基本理解（2） ヘルピングの言語的技法について学ぶ	ヘルピングの言語的技法理解
5回	相談支援の基本理解（3） 来談者中心療法について学ぶ	来談者中心療法、受容・傾聴・共感的理解
6回	相談支援の基本理解（4） ロールプレイによる受容・共感的理解について学ぶ	信頼関係の構築、受容、共感、ロールプレイ技法
7回	非構成的グループエンカウンター ふれあいと自己開示・自他理解について学ぶ	エンカウンター、ふれあい、自他理解
8回	保育者としての自己理解 エゴグラムを通して自己を理解する	保育者としての自己を理解する
9回	保護者支援 子どもの様と行動療法 ティーチャーズ・トレーニングを通して子どもの様について学ぶ	保護者の養育力の向上 行動療法の技法
10回	保護者支援 論理療法を通して心の健康・支援方法について学ぶ	心の健康、支援方法の理解
11回	子育て支援グループについて考える 運動プログラムを通して子育て支援グループの方法について学ぶ	子育て支援、子どもの運動発達・情緒の発達支援の方法理解
12回	子育て支援グループの計画・進め方 運動プログラムを通して発達支援・親子の支援方法を学ぶ	子育て支援グループの進行、発達支援 理解
13回	日常の保護者対応・保護者支援 子育て支援グループ振り返り、保護者支援について理解を深める。	保護者対応保護者支援の実際理解
14回	保育相談支援 まとめ	保育相談 知識・理解の確認
試験	定期試験	